



将来に向けて！2年担任団からのメッセージ

早くも3月になり、本年度も終わりに近づいています。この一年間を振り返り次年度への目標を立てる時期になりました。入学してから新型コロナウイルス感染症の為に学習活動や学校行事に大きな影響がありましたが、ようやくコロナの影響もなくなりました。担任の先生方もこの状況に不安を感じながらも、毎日みなさんの状況を見守っています。来年度に向けての激励メッセージをいただきました。どの担任の先生方も皆さんの健闘を期待しておられます。4月から3年生となります。就職や進学に向け、計画的に後悔しないように過ごしましょう。



機械科 気が付けば高校生活も2年が過ぎ、来年度は締め括りの1年となります。そして、進路決定の大切な年となります。「これでいいや。」ではなく「これがいい。」という自分で決めた道を選んでほしい。自分で決めた道であるなら、その道がきっと正解となるはず。高校生活ラスト1年、まだまだ成長の機会はたくさんあるはず。何事にも全力で取り組んでいきましょう。

担任 中川智志

情報電子科 1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、の言葉通り2年生も残り少なくなりました。進路の決定が近づいてきています、焦らずじっくりと考えて自分の将来「なりたい職業」・「なりたい大人」を選択してください。進路室にはベテランの先生方もおられますし、資料もいっぱいあります。遠慮しないでどしどし訪問・相談しましょう。春休み中でも学校が開いていれば大丈夫です。

担任 勝部 展司

電気科 これから迎える三年生の年は、人生の中でも特に重要な時期です。これまでの学びや経験をもとに、より深く学び、成長していく大切な時期です。自分自身の目標や夢に向かって努力を続け、将来のために一歩ずつ進んでいってください。

同時に、三年生としての役割も大きくなります。後輩たちへのリーダーシップを発揮し、協力して学校生活を豊かにしていきます。また、先生方や周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに、一緒に成長していくことが大切です。

困難な時期もあるかもしれませんが、それを乗り越えるための力は皆さんの中にあります。自信を持って挑戦し、失敗から学びながら前進していきましょう。そして、大切なのは諦めないこと。目標に向かって努力を続ければ、必ずや成功への道が開けます。

担任 國岡 拓

建設科 2年生が終わり高校生活も終着駅へと近づきます。

人間は常に無数の分岐点に立たされながらもどれか一つを選択しながら進んでいく生き物です。「今日の朝ごはんを、ご飯にするか。パンにするか。」「今夜、YouTubeを見るか。映画を見るか。」小さな分岐点で選択をする時もあれば「マイホームを建てるか。アパートに住み続けるか。」のように大きな分岐点で選択をする時が来ます。その分岐点の一つへ皆さんは近づきつつあります。

次の分岐点は「進学するか。就職するか。」です。今を楽しむことも大切ですが、分岐点で焦らないために情報収集を行うことも必要です。後悔のない選択のために進路と向き合うようにしてください。

担任 櫃田 航大

環境エネルギー科 この一年間、みんなに伝えたかった事は、「100回やれば何とかできる」という事です。今更感のある言葉かもしれませんが、いざ実行しようとする、これが中々難しい。

テスト前に、今回は良い点を取ろうと勉強を始めます。すると、教科書を一瞥しても、全く分からない。「う～、明日やろう。」となります。そして、これがテスト前日まで続きます。

では、どうするのか。兎に角、教科書を100回読むんです。「そんな無茶な」という声が聞こえて来そうですが、実は、教科書を1ページ読むのに、10分もかかる人はいません。10回読むと、1ページ当たり5分以下で読めるようになり、更に100回目には、1分もかからなくなります。

イチローをはじめ多くの成功者は、「最初の1億を貯めるのはめちゃくちゃ苦労したが、1億を10億にするのはそれほど大変ではなかった」と言います。これも、100回繰り返すことと同じ原理です。騙されたと思ってやってみてください。

担任 田邊 誠司